



会長挨拶

宮城県交通安全母の会連合会  
会長 佐々木 和恵

宮城県交通安全母の会連合会の会員  
の皆様におかれましては、お健やかに  
お過ごしのこととお慶び申し上げます。

平素から、「交通安全は茶の間から」をスローガンに  
地域に根ざした活発な交通安全活動を展開していただ  
いておりますことに、衷心より厚く御礼を申し上げます。

また、高齢者交通安全教育指導者研修会やリーダー  
研修会にも意欲的に参加され、学んだことをそれぞれの  
地域で広めていただいていることにも深く感謝を申し  
上げます。

さて、昨年、県内では交通事故により65人の尊い命  
が失われ、その3割以上を高齢者が占める結果となり、  
高齢者の事故防止対策が大きな課題となっております。  
あわせて飲酒運転も根絶に至っていない状況にありま  
す。来年度も世帯訪問を通して反射材の活用や交通安  
全意識を高める指導の徹底、飲酒運転根絶の呼び掛け  
が重要となります。

今後とも、母の会の力を結集し、交通事故のない安  
全で安心な交通社会の実現に向けた活動を進めてまい  
りますので、御支援と御協力をお願い申し上げます。

結びに、会員の皆様の益々の御活躍と御健勝を心か  
ら御祈念申し上げ、挨拶といたします。

交通対策本部長(内閣府特命担当大臣)表彰  
受賞者紹介(敬称略)

多年にわたる母の会の活動を通  
し、地域社会における交通安全  
の確保に貢献されたことにより、  
交通対策本部長(内閣府特命担  
当大臣)から表彰されました。



【個人の部】  
大橋 かよ子(角田市)

宮城県知事表彰受賞者紹介(敬称略)

多年にわたる母の会の活動をは  
じめ交通安全活動への多大な貢献  
により知事から表彰されました。



文化の目表彰

【交通安全功労】  
菅野 俊子(加美町)

第50回宮城県交通安全県民大会表彰

【交通安全功労者】

佐藤 幸子(多賀城市) 加藤 八重子(松島町)  
櫻井 礼子(松島町) 品部 陵子(利府町)  
熊谷 かつ江(涌谷町)

宮城県交通安全母の会連合会長表彰  
受賞者紹介(敬称略)

多年にわたり、母の会の活動に従事し、交通事故  
防止活動に貢献された団体及び個人が母の会連合会  
長から表彰されました。

【個人の部】

佐藤 つた子(石巻市) 菅原 登司子(気仙沼市)  
芦名 洋子(名取市) 齋藤 基子(多賀城市)  
竹野 幸子(村田町) 本田 美代子(加美町)  
安部 高子(涌谷町)

高齢者交通安全ふれあい世帯訪問事業



「お元気ですか」と声か  
けしながら訪問

「こんにちは〇〇さんお元  
気ですか」と声を掛けながら  
仙台中央地区亀岡支部母の会  
と民生委員そして警察官と一  
緒に9月から10月にかけて  
高齢者世帯訪問を実施しまし  
た。事故防止の説明、例えば、  
横断歩道を必ず渡る事、青信  
号が切り替わるまでのカウント表示が2個以下に  
なったら、無理せず次の青信号を待つこと等基本的  
な話にオレオレ詐欺被害にあわない様に防犯につい  
ても加えて話しをしました。最後に、お土産の袋を  
手渡ししながらその中に、ウェッ  
トティッシュ・リストバンド・  
バッグにつける反射材・パン  
フレット等が入っていること  
を説明し、履きなれた靴に反  
射材を貼ってさしあげて、事  
故に遭わない事を願いながら



お土産の啓発物品等を  
手渡します

私達母の会は「交通安全は茶の間から」を合言葉に、  
今後も、高齢者の事故が減少するように、また、交  
通事故の加害者・被害者にならないように交通安全  
活動を推進しながら、安心安全な地域社会を目指し  
たいと思います。

私も、令和2年は交通事故のない年になる事を願  
い、啓発活動に協力して参りたいと思っています。  
(鈴木恒子)

## 東北ブロック交通ボランティア等講習会



宮城県交通安全母の会連合会永塚副会長（大崎市交母会長）の活動事例発表

令和元年9月9日・10日の両日、内閣府主催「東北ブロック交通ボランティア等講習会」が青森市で開催され、母の会連合会から永塚正子副会長、丹野恵子理事、私、会長の佐々木の3人が出席いたしました。

1日目の講演では、「地域の安全は“ひと・笑顔・ひと”から」と題して金沢星稜大学教授池田幸廉氏から、これからの地域社会は私たちがつくるといふ信念のもとと大学生と活動した体験を紹介しながら、「ものより心」「笑いが心と身体を元気にする」等についてお話がありました。続いて、各県の活動紹介があり、地域の特徴を生かした取り組みが発表されました。本県の代表として、永塚副会長から大崎市の取り組み「飲酒運転根絶活動について」の発表がありました。スクリーンを使って活動の様子を分かりやすくきめ細かに説明し、見事な発表でした。



各県の意見を出し合ったグループ討議

2日目の講演では、「子どもの交通行動と発達の関係」と題し、大阪国際大学教授山口直範氏から、発達心理学の観点から子どもの交通行動を理解することの必要性や、大人から押しつける交通教育ではなく子どもたちの興味を向ける工夫、いつもの知っている場所で楽しく学ぶ安全教育をしてほしいとのお話がありました。最後に各県とのグループ討議と発表、講評と続き閉会しました。

2日間、沢山の出会いと有意義な研修を受けることができ、心から感謝を申し上げ報告いたします。

(佐々木和恵)

## リーダー研修会



真剣な討議の様子

令和元年初となるリーダー研修会が12月2日宮城県自治会館を会場に開催されました。各市町村から参加された62人の方々が、6グループに分かれてテーマに沿った討議を行いました。私は「飲酒

## 交通事故発生状況

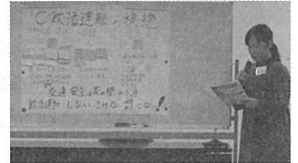
令和元年中の県内の交通事故発生状況は、下表のとおり発生件数及び負傷者数はいずれも前年から減少しました。しかし、65歳以上の高齢者の交通事故死者は22人で、前年比5人減少したものの、交通事故死者全体(65人)に占める割合が3割以上と依然として高い状況となっています。

【交通事故発生状況】

(単位：件、人)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
令和元年	5,675	61	65	611	6,330	6,941	
平成30年	6,815	55	56	618	7,891	8,509	
増減	数	△1,140	6	9	△7	△1,561	△1,568
率		△16.7	10.9	16.1	△1.1	△19.8	△18.4

運転の根絶」に加わりました。初めに、地域毎の活動状況を報告していただきました。飲食店へ一軒一軒足を運び、運転者への飲酒防止の啓発を行っている地区。忘年会シーズンに、地域のお宅を回りながら、「飲酒運転防止は家庭から」を呼び掛ける地区もありました。また、ショッピングセンターでの啓発運動や、お祭りなどでの飲酒運転防止のPR活動など、町ぐるみで取り組んでいる所もありました。地域の状況に合わせての活動ですが、どこも真剣に取り組んでいました。しかし、飲酒運転は無くなりません。課題なども討議しましたが、飲酒運転は絶対しない!という、一人一人の強い意志と、周囲の粘り強い呼び掛けに尽きるとの結論に至りました。私は今年初めて母の会の役員になり、この研修会へ参加しました。交通事故で悲しむ人を無くしたい。参加者全員がグループ討議の結果を発表しましたその強い思いで真剣に討議をする姿に、心から感動すると共に、母の会の一員としてできる事を、今一度考えようと思いました。まずは「交通安全は茶の間から」のスローガン通り、家族への啓発を軸に、街頭指導での注意喚起を行いたいと思います。この様な機会を与您いただき本当に有難うございました。(大場小百合)



グループ討議の結果を発表しました

## 飲酒運転根絶啓発活動紹介



年末の飲酒運転根絶啓発活動

令和元年5月22日、仙南芸術文化センター（大河原町）で開催された「第13回宮城県飲酒運転根絶県民大会」に参加しました。大会では、飲酒運転による交通事故の悲惨さを改めて心に刻む機会となりました。

残念ながら柴田町においても飲酒運転による事故が発生しています。そこで、年末年始など飲酒の機会が増える12月24日に柴田ショッピングセンターマルコで飲酒運転根絶啓発活動を行いました。来店者の方にチラシや啓発品を配布しながら、「飲酒運転をしない、させない、許さない」を呼び掛けました。また、警察官の方と一緒に、運転代行サービスやハンドルキーパーなどを紹介したところ、「知



警察官の方と飲酒運転根絶を呼び掛け

らなかつた」「周りにも広めたい」などの声もありました。

凶悪な犯罪である飲酒運転の危険性や事故の悲惨さを広め、今後も飲酒運転根絶に向けた啓発・広報活動に力を入れていきたいです。(水戸和子)

## 市町村母の会活動紹介

### 大崎市古川地域交通安全母の会

大崎市交通安全母の会連合会は7つの地域からなり、古川警察署管轄が5地域、鳴子警察署管轄が2地域に分



安全広報日に啓発グッズを配布して交通安全を呼び掛ける

れています。今回古川地域での活動を紹介します。

古川地域は国道4号線、国道47号線、国道347号線が通っており、とても交通量の多い地域です。大崎市では、平成27年に交通死亡事故が多発して以降、毎月交通事故の多い日の前日を「安全広報日」として啓発に力を入れています。今年度の「安全広報日」には、警察署、防災安全課、安全協会、母の会おおむね10人以上で、市民病院、大型店舗、コンビニ等に来院、来店した方に、交通安全啓発グッズを配布し、交通安全を呼び掛けました。特に高齢者には靴用の反射材をつけてさしあげ、好評でした。

また、母の会では、春と秋の交通安全週間に街頭啓発活動を実施しています。特に、安全協会が主催する「人垣作戦」活動は、国道4号線穂波交差点に、警察署、交通安全機関団体、総勢200人が横断幕、のぼり旗、ハンドボード等で運転者へ視覚で訴える効果満点の活動です。母の会から毎年10人参加し、盛り立て役をしております。「交通安全は茶の間から」の合言葉の発祥の地に恥じない活動を通して悲惨な交通事故のない安心して暮らせる地域を目指し、今後も地道に啓発活動を推進してまいります。(永塚正子)



運転者に視覚で訴える「人垣作戦」活動に参加

更新制度」や「認知症の予防に必要な知識」について講義が行われました。

2つ目は、「認知症予防体操教室」と題し、運転寿命を延ばす効果が期待でき、椅子に座ったままでも行うことができるトレーニングを体験しました。

3つ目は、東北大学と仙台放送が共同開発し、高齢者の運転能力や認知能力の低下を抑える効果がある「運動技能向上トレーニング・アプリ」を体験しました。

参加した会員からは、「とても勉強になった」「教えてもらった体操を続けたい」といった好意的な意見が多く聞かれ、有意義な研修会となりました。(高橋たづよ)



認知症予防体操教室の様子

### 仙南地区連絡協議会



母の会会員など関係者が集合して啓発活動を行います

猛暑の続く7月25日、白石市のヤマザワ白石北店において「飲酒運転根絶」や「ラ・ラ・ラ運動」のチラシと反射材付きのエコバッグ等の啓発物品を配りながら、買物客に交通安全を呼び掛ける活動を行いました。

10月31日には、柴田町で「研修会」が開催される予定でしたが、10月上旬に発生した台風19号が各地にもたらした甚大な被害のために中止になりました。仙南地区2市9町の中では丸森・角田の被害が大きく、特に丸森町はまだまだ復旧半ばで被災町民の方々は今も不自由な生活を強いられているとのことです。

仙南地区には国道が4号線・6号線の他にも5本通り、高速道路も東北道・常磐道・山形道の3本が通っております。私たちは常に、『交通安全は茶の間から』を合い言葉に、「平時の交通安全」について考え、活動をしています。しかし、今回の災害では車での避難途中に命を落とされた方もおられたという事実を知り「災害時における交通安全」についても意見交換等を通して研修を積む必要性を感じました。

台風19号は県内各地にも大きな爪痕を残しました。被災された方々が一日も早く日常の生活に戻れますようにお祈りいたします。(大河原みつ子)



買物客にチラシ等を配布し交通安全を呼びかける

## 地区連絡協議会活動紹介

### 仙台地区連絡協議会



講演「シニアドライバーが長く安全に運転するために知っておきたいこと」

仙台地区連絡協議会では、令和元年11月7日、岩沼市の市民会館を会場に「シニアドライバー向け安全運転支援セミナー」と題した研修会を開催し、約60人の会員が参加しました。

この研修会は、岩沼市と「地方創生に関する連携協定」を締結しているあいおいニッセイ同和損害保険株式会社様の御協力により実現することができました。

この研修会では、3つの内容を取り上げました。

1つ目は、「シニアドライバーが長く安全に運転するために知っておきたいこと」と題し、「高齢者の運転免許

## 春の交通安全県民総ぐるみ運動

期間 令和2年4月6日(月)から4月15日(水)までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(金)

- 運動の重点
- ①子供を始めとする歩行者の安全の確保
  - ②高齢運転者等の安全運転の励行
  - ③自転車の安全利用の推進
  - ④飲酒運転の根絶



## 大崎・栗原地区連絡協議会



大崎市安全・安心まちづくり大会  
第1部の様子

令和元年11月29日、この日はこの冬一番の寒い朝だった。私達地域交母の会員3人は支所の車で8時15分に出発し、大崎市安全・安心まちづくり大会の会場である市民会館に向かった。大崎・栗原地区連絡協議会では、11月29日を地区連統一活動日に定め、今年度は飲酒運転根絶をテーマに、各地域に合わせたキャンペーン活動を実施することとしていた。私が所属する大崎市交母では、大会に併せてキャンペーンを行った。会場の入口において、永塚会長をはじめとする古川地域の仲間が「おはようございます」「お疲れ様で～す」と元気にあいさつをしながら、大崎市安全・安心まちづくり大会第2部「出動式」

来場者に記念品を渡し、飲酒運転根絶を呼び掛けた。来場者は多く、年末の安全・安心への関心の高さが感じられ、効果的なキャンペーンを行うことができた。会場に入ると、あちらこちらに黄色のジャンパーとたすき掛けの他地域の仲間がたくさん見受けられ、私達交母の意気込みを感じた。また、第1部が終わり、第2部の出動式の際に、たくさんの関係団体が列を連ねる中で、私達の黄色ジャンパーとたすき掛けの列が一段と輝いてみえた。飲酒運転根絶キャンペーンの重要性和冬道運転のスローガン等季節に応じた注意事項を守り安全運転・事故防止に努めることの大切さを改めて認識した大会だった。(小関裕子)



大崎市安全・安心まちづくり大会  
第2部「出動式」

直前で一旦停止し、歩行者を横断させること」など、交通事故を起こさないため、交通事故に遭わないための様々なお話をお聴きすることができました。



意見交換会では、各地区の佐沼警察署泉交通課長の講話会員紹介の後、石越地区交通安全母の会と気仙沼市交通安全母の会がそれぞれの活動状況を発表し、今後の母の会の取り組みなどについて情報交換を行いました。

研修後は、石越地区の皆さんによるコーラスやマジックショーなどのアトラクションが披露され、とても和やかな雰囲気の中で会員同士の親睦を深めることができました。

今後も研修会等を通して、他地区との交流を図りながら、「交通安全は茶の間から」を合言葉に、家庭や地域から交通安全の推進に努めていきたいと思ひます。

(佐藤喜久子)

## 石巻市交通安全母の会



石巻市交通安全母の会では、令和元年度も交通事故を減らすために、様々な取り組みを行ってきました。

釜・大街道地区の一人暮らしの高齢者を対象として9月に開催された「福祉のつどい」では、高齢者の交通事故防止について講話を行い、反射材などの啓発グッズを配布しました。

10月には、「視察研修」で気仙沼市交通安全母の会を訪問しました。日頃の活動内容や指導方法などを共有し、意見交換することで親睦も深まり、今後の活動に役立つヒントを持ち帰ることができました。

また、飲酒の機会が増える年末に向けて、国道沿いの歩道や商業店舗前で飲酒運転根絶キャンペーン活動を石巻警察署と連携して3回実施し、飲酒運転の撲滅を図りました。



年末の飲酒運転根絶キャンペーン

歩行者、ドライバーに限らず、誰もが交通事故の被害者にも加害者にもなり得る世の中です。「交通安全は茶の間から」を合言葉に、ルールやマナーを守ることが他人への思いやりにつながることを伝え、それが習慣化されるよう、私たちはこれからも交通事故ゼロの社会を目指して活動していきたいと思ひます。(高橋富子)

## 登米・本吉地区連絡協議会



登米・本吉地区連絡協議会  
佐藤会長の挨拶

令和元年11月25日、登米市石越公民館において、登米・本吉地区連絡協議会研修会が開催され、登米市と気仙沼市の交通安全母の会会員約50人が参加しました。

研修では、佐沼警察署の泉交通課長より講話をいただき、登米市の交通情勢についてのお話のほか、「車両の運転手は、横断歩道で横断しようとする歩行者の通行を妨げてはいけないこと」や、「横断歩道の

### 第27回 あなたもチャレンジ！無事故無違反

## セーフティ123

あなたもチャレンジ！無事故無違反「セーフティ123」は、3人チームで参加し、123日間の無事故無違反を目指し、交通安全意識の向上を図ることを目的に実施しているキャンペーンです。

無事故無違反達成チームには、抽選で素敵な賞品が当たりますので、職場の仲間、家族、友達、ご近所さん等でふるって参加しましょう。

○募集期間 令和2年5月1日～令和2年6月14日

○チャレンジ期間 令和2年6月15日～令和2年10月15日(123日間)

セーフティドライブで  
賞品ゲット!!!  
(前回の1等賞品はチームに9千円の商品券)

お問い合わせ みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会事務局(宮城県震災復興・企画部総合交通対策課内)  
TEL: 022-211-2438